

# 製品安全データシート(MSDS)

作成日 2010年3月18日  
改訂日 2014年6月27日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 再帰反射シート  
キワライト ゼブラ グレード( SY,SR,SGシリーズ)  
Zebra Grade (SY,SR,SG Series)

会社名 紀和化学工業株式会社  
住所 和歌山県和歌山市南田辺丁33番地  
担当部門 フィルム事業部 技術開発部 品質管理課

緊急連絡電話番号 (0736)64-4010  
FAX (0736)64-4088

整理番号 ID-1195Z-05

## 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性 シート状であるが、一部粉塵になっている場合は吸引する恐れがあり、微量な化学物質等のため、アレルギーを起こす恐れがあります。又、静電気により手または身体に刺激を及ぼすことも考えられます。

物理化学的危険性 消防法の指定可燃物である。

GHS分類 対象外(成形品)

注意書き 安全対策  
・保護手袋、その他保護具を着用すること。  
・常温以下の換気の良い場所で、取扱いすること。  
・一部粉塵等になる恐れがある場合は、局所排気装置を設置すること。  
救急措置  
・作業環境の悪い状態で、皮膚にアレルギー等の症状が出た場合は、直ちに医師の手当てを受けること。

国/地域情報 国内法による特別規定なし

## 3. 組成及び成分情報

成分	化学式	CAS番号	官報公示整理番号	含有量
ポリエチレンテレフタレート	(C <sub>10</sub> H <sub>8</sub> O <sub>4</sub> ) <sub>n</sub>	25038-59-9	7-1022	12~22%
ビニルアセタール系樹脂	非公開	非公開	非公開	6~10%
チタンバリウム系ガラス	TiO <sub>2</sub> -BaO等の溶融珪化物	—	—	6~18%
アクリル系粘着剤	非公開	非公開	非公開	12~22%
離型紙	木材繊維等	—	—	35~55%

#### 4. 応急措置

吸入した場合  
皮膚に付着した場合  
眼に入った場合  
飲み込んだ場合

新鮮な空気のある場所に移動し、必要に応じて医師の診断を受ける。  
多量の水、及び石鹼水で洗い落とす。  
こすらず、きれいな水で洗浄し、直ぐに眼科医の診断を受ける。  
直ちに吐き出させ、医師の診断を受ける。

#### 5. 火災時の措置

消火剤  
消火方法

一般火災と同様 水散水、粉末、泡消火剤等。  
消火作業は可能な限り、風上から行なう。  
火災場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
移動可能なものは、速やかに安全な場所に移動させ、周辺設備に散水し冷却する。

消火を行なう者の保護

呼吸用保護具及び保護眼鏡を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

フィルムのため漏出の心配はありませんが、切れ端等が散乱すると粉塵として空气中に舞い上がり、吸引することも考えられます。常に清掃し、マスク等の保護具の着用が望ましいと考えられます。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
技術的対策

特に乾燥した状態では静電気が発生しやすいため、静電気除去のための装置又は設備を準備する。又局所排気装置を付け、十分換気をよくする。

注意事項

又、素手で触れる場合は極稀に手を切る恐れがあります。十分注意して取扱いをして下さい。保護具を着用することをお勧めします。

保管  
適切な保管条件

取扱いは換気の良い場所で行い、フィルムの切れ端等が散乱しないように注意する。

直射日光の当たらない温度25℃以下の冷暗所で保管して下さい。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策  
許容濃度  
保護具

適当な換気が可能な作業所であれば特に問題ありません。

未設定

呼吸器の保護具 : 防塵マスク等

手の保護具 : 保護手袋等

皮膚及び身体の保護具 : 保護服等

#### 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

フィルム(成形品)

色

2種

臭気

特になし

pH

該当しない

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

燃焼・爆発範囲上限・下限

データなし

蒸気圧

該当しない

蒸気密度

該当しない

比重(相対密度)

データなし

溶解度

不溶

n-ブタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
臭いの閾値	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	一般的取扱いに対して安定である。
反応性	示しません。
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

## 11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露	データなし
特定標的臓器・全身毒性－反復暴露	データなし
吸引性呼吸器有毒性	データなし

## 12. 環境影響情報

環境毒性	水系毒性	データなし
	生態毒性	データなし
土壌中の移動性	特にデータはありませんが、地下水を汚染するようなことはありません。	
生態蓄積性	データなし	

## 13. 廃棄上の注意

『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に従い産業廃棄物処理業者又は自治体に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
国連分類	危険有害物質に当たらない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない

## 15. 適用法令

消防法	火災予防条例準則第34条 指定可燃物(合成樹脂類) 3000kg以上の取扱い及び貯蔵の場合は、指定可燃物の合成樹脂類(その他のもの)に該当します。
廃棄物処理法	産業廃棄物・廃プラスチック類
労働安全衛生法第57条の2第1項通知対象物	該当しない
化学物質管理促進法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない

## 16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、物理化学的性質、健康に対する有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。  
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。